



毎年2月といえばバレンタイン・・・と2月3日節分の日!節分では鬼を払い、福を招き、年の数だけお豆を食べますが、その起源をご存じですか?今月は節分と鬼に関する本をご紹介します。



『鬼と日本人の歴史』

小山 聡子/著 筑摩書房【全集38コ所蔵館:中央】



人々に恐れられている鬼は一体どこからやってきたのか。それは古代にさかのぼる。時代が変わるにつれ次第に都合の悪いものを鬼と呼ぶようになり、人の心の有り様も映し出してきた。鬼の対処法、鬼ヶ島、豆まきの始まり等鬼の歴史を詳しく説明。

『鬼』 たかし よいち/作 ポプラ社

【こわい話カ 所蔵:中央、南部、本郷】



働いても生活が楽にならないことを嘆く若者、与助。ある満月の夜、巨木の幹にはりつく一匹の青鬼に気づくと、その背中が次第に裂けていき…。たかはしよいち氏の妖怪伝第3弾。

# 鬼

『日本の鬼図鑑』

八木 透/監修 青幻舎【388コ 所蔵館:中央、南部】



鬼!鬼!鬼!日本人にとっての恐怖の象徴、「鬼」について絵巻等資料をふんだんに使って紹介した至極の一冊です。百鬼夜行に遭遇してしまった安倍晴明

の対処術...信州の戸隠山に伝わる、人を襲って肉を食らった鬼女紅葉の伝説等々鬼マニアにはたまらない!

『千年鬼』

西條 奈加/著 徳間書店【サイ 所蔵館:中央、南部、寿台、本郷、中山、梓川】



主人公、民は森に住む小鬼と出会うが、弟を探すために過去を見たことにより、心に“鬼の芽”を生じさせてしまう。日本ファンタジーノベル大賞受賞作品。



『鬼人幻燈抄』

中西 モトオ/著 双葉社【カ 所蔵館:南部、本郷】

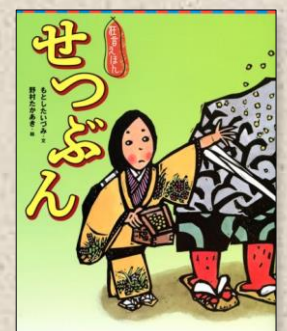
幼くして家を出た2人の兄弟。18歳になった兄の甚太は村の巫女“いつきひめ”を護衛する巫女守(みこもり)の仕事を担う。ある日、討伐に出かけた甚太は鬼を倒すがその鬼の能力を引き継いでしまい、自身の体も鬼となってしまう。



『せつぶん』

もとした いづみ/文 講談社【E1 所蔵:中央、南部、あがた、寿台、中山、島内、空港、梓川】

節分の夜、中国の「ほうらいがしま」から日本に鬼がやってきた。ある民家を訪れると、留守番をしていた美しい女に心惹かれるが怖がられるばかり。女は本当に自分のことが好きならと鬼に宝物を要求するが…。





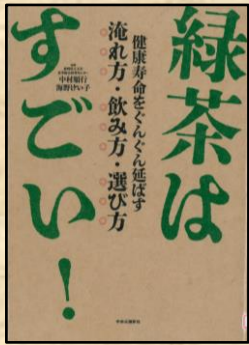


# 新刊のご案内



## 『緑茶はすごい!』

中村 順行 / 監修 中央公論新社  
【498.5リ 所蔵館:中央・梓川・中山】



私達にとって身近な飲み物である緑茶、なんとなく飲むのではなく意識的に日常に取り入れてみませんか。この本では緑茶の様々な健康効果やおいしい淹れ方などが紹介されています。この本を読んで緑茶を楽しんでみませんか。

## 『とらまる、山へいく』

なかがわ ちひろ / 作・絵 徳間書店  
【JFナカ 所蔵館:中央・南部・あがた・鎌田・本郷・中山・空港・梓川】



動物病院に住むねこのとらまるは、昼間は寝たふりでまちの先生の仕事を観察。夜になると、山の動物たちのお医者さんになります。所々に描かれた猫あるあるのしぐさに、作者の愛を感じる読み物です。低学年から。前作『やまの動物病院』もどうぞ。

## トークライブ デザインについて語りあおう

フォントを作るワークショップとデザインについての講演会を開催します。デザインをやってみたい人、デザインについて悩んでいる人はぜひお越しください。

日時 2月23日(金・祝) 午前10時～、午後2時～

午前 「フォントを作ろう」ワークショップ 中高生向け(定員26名)

午後 「デザインするということ」講演会 大人向け(定員60名)

講師 株式会社あをぐみ グラフィックデザイナー 青柳 幸永氏

会場・申込 中央図書館 (tel 32-0099)

## はじめての「お金の育て方」セミナー

日時 2月27日(火) 午後6時30分～7時30分

会場 中央図書館 3階視聴覚室

対象 20～50代で、資産形成を始めたいと考えている方 ☆定員15名

講師 明治安田生命保険

申込 2月6日(火)～20日(火)に中央図書館(tel 32-0099)へ

資産運用を始めたい、どうしたらお金を増やせるのだろう...と考え始めた時に、「お金の増やし方」についての基本を学ぶ講座です。



Twitter

松本市図書館  
@matsumotolib



Facebook

松本市図書館 ~アルプスの山々に囲まれた~



FMまつもと 2月の出演

2月8日(木) 12:30～

チャンネル:79.1MHz

※放送日等変更になる可能性があります。

